

自立支援事業

平成31年度 第1回 なごやかサロン

職員さんも参加・相談できます。

なごやかサロンとは、社会的養護当事者・支援者が気軽に参加して、なんでも相談できる自立を支援するための事業です。どんな御悩み事でもOK。(同封のチラシをご覧ください。)
まずは気軽に参加して先輩や専門家に相談してみましょ！職員の方の相談も承ります。

日時 / 10月12日(土) 10:00～16:00 参加費・相談料 / 無料
会場 / 名古屋市北区西志賀町5丁目13番地の1 司マンション202号
黒川駅3番出口より徒歩10分駐車場はありません。コインパーキングをご利用ください。

学習会事業

平成31年度 わくわく集会

わくわく集会とは、社会的養護の下で暮らしている子どもたちや育った人たち、現場で奮闘されてきた方やされている方が経験してきたことを大いに語り、これからの社会的養護のあり方を参加された皆さんと前向きに研鑽していく場です。



日時 / 11月10日(日) 13:30～16:30(受付/13:00～)

会場 / 愛知県司法書士会館8階
〒456 0018 名古屋市熱田区新尾頭1 12 3

内容 / 第1部(13:40～) 当事者の語り「施設育ちの私が仕事・子育てを通して今思うこと」
[講師: 橋爪 勇人氏](岐阜県内児童養護施設出身・障害児入所施設指導員)
第2部(14:20～) 現場奮闘者の語り「施設職員として大切にしてきたこと」
[講師: 小尾 康友氏](児童養護施設ゆうりん施設長)
第3部(15:30～) 茶話会 お菓子を食べたり、お茶を飲みながらお話をしましょう
会費 / 正会員: 無料・準会員: 300円・未会員: 500円 定員 / 40名

申込締切
11月8日
まで

12月14日(土) 10:00～ 第2回なごやかサロン(会場/なごやかサポートみらい事務所)
19:00～ 忘年会(改めてお知らせします)

2020年

2月 8日(土) 19:00～ 第3回なごやかサロン(会場/なごやかサポートみらい事務所)

2月～3月 記念品贈呈事業 (みらい募金を活用)

★みらい募金へのご協力をお願い致します!★

年度末には施設や里親家庭等を巣立って、就職・進学する子どもたちへ当法人から記念品を贈呈する事業を行う予定です。



【お振込先】
三菱東京UFJ銀行 黒川支店
普通口座 0126496
特定非営利活動法人なごやかサポートみらい
理事長 蛭沢 光
トクヒナゴヤカサポートミライ
リジチョウ エビスワ アキラ

皆様からのあたたかい気持ちをお願い致します。

★ご支援を頂いた皆さま★

- ・三大寺千穂さま
- ・医療法人福智会さま
- ・河内伸子さま

ありがとうございました。

(順不同)

9月16日現在会員数
正会員36名・準会員16名 計52名



特定非営利活動法人
なごやかサポートみらい

〒462-0058
愛知県名古屋市北区西志賀町5丁目13番地の1
TEL (052) 718-7188
E-mail info@nagoyakamirai.com
http://www.nagoyakamirai.com

○●特定非営利活動法人 なごやかサポートみらい●○



〒462-0058
愛知県名古屋市北区西志賀町5丁目13番地の1
TEL (052)718-7188
E-mail info@nagoyakamirai.com
http://www.nagoyakamirai.com

みらい通信 40 2019年9月19日(木)発行

みらい通信は、当会の活動を会員さんや関係者の
方々に知っていただくために作成し、お送りいたします。

発行者 蛭沢 光

- 6月 8日(土) 平成31年度 総会(会場/北生涯学習センター第一会議室)
- 6月23日(日)[自立支援事業]第21回奨学金説明会(共催)(会場/ウィルあいち2階セミナールーム6)
- 8月24日(土)[自立支援事業]第22回奨学金説明会(共催)&個別相談会(会場/なごやかサポートみらい事務所)
- 8月24日(土) 第1回役員会(会場/なごやかサポートみらい事務所)

自立援助ホーム
いっぽの活動報告

子ども達がいつでも頼れる場所を目指して!



平成31年4月以降は就職のために退所した子が2名いたことで新たに3名の子が入所しました。いっぽでは全員が学校に所属しているという初めての状況です。内訳は専門学校1名、昼間定時制1名、夜間定時制2名、通信制1名、特別支援学校1名。それでは4月から9月までの期間を振り返ります。

4月「新たなメンバーと共に新年度スタート！」
いっぽでは子どもたちの出入りがあり、これからどんな生活が始まるのかなと楽しみにしていた矢先。新しく入った子と前から住んでいた子の間でお互いに気に入らないことがあるのかピリピリとした雰囲気。いっぽでの生活は兄弟

同士でもないからこそ、関係性を築き、相手のことを思われるまでには時間がかかるようです。
5月「学校に行こうよ、行きたくないの攻防戦をしていた」
今、自分が通う学校に行ってもどんな意味があるのかが分からない。過去にあったいろんな不満が爆発し、そのモヤモヤする気持ちと学校に行きたくない気持ちが重なったようです。

6月、7月「6月と7月に新しいスタッフが入りました」
常勤スタッフが入ってきてくれたので、子どもたちと少しずつ関係性を作りながら、大人も日々悩みながら支援に臨んでおりました。

8月「いっぽのみんなでBBQに行きました。」
岐阜県中津川近辺のオートキャンプ場で夏休みの思い出作りをしました。子どもたちから「川遊びしたい」「海鮮のBBQがしたい」「肉を食べたい」等の希望が出たので、買い出しから相談してBBQ企画を開催。食後は川遊びをして泳ぎ、夏の日差しで火照った身体を川の冷たさで癒し、思い存分に遊びつくしたようでした。いっぽへの帰りの車内では次の外出について話し合っていました。「次は冬にスキーに行こう」と言い出した子がおり、他の子たちもその意見に乗り気でした。冬はスキー企画の準備が始まりそうです。

9月「新学期がはじまり、学校とバイトの両立がはじまりました」
学校が始まると子どもたちの生活は一気に忙しくなります。ある子どもの平日の予定を書いてみます。8時30分、起床し朝食を食べて、仕事の準備。9時30分、出発。10時、勤務開始して15時に勤務終了。その後、学校へ移動。17時から21時まで授業。21時からは1時間ほどバドミントンの部活をする。いっぽへの帰宅は23時前になります。その後、余暇の時間を過ごしお風呂に入り就寝という流れです。仕事がある平日は空いた時間が少ないので、たまに「疲れた...」と言葉を漏らす子もおります。彼らを見てみると、自分が高校生の時の何十倍も頑張っています。不意に「普通の家庭の高校生はお小遣いもらえて、携帯代を払ってもらえて、なんでおれは働かないといけないの?」と言われる時は何を言ったらいいのか?と言葉が出ないことがあります。日々、頑張り続ける彼らにこそ幸せな人生をつかみ取って欲しいと願うばかりです。まだまだ未熟ないっぽを応援して下さい。これからもよろしく願い申し上げます。

自立援助ホームいっぽ ホーム長 青木佑磨



子どもの数:6名/職員数:17名/ボランティア数:4名/支援の会会員数:22名/協力雇用主:7社(9月10日現在)

活動報告

令和1年度総会を振り返って



令和1年6月8日(土)午後2時から、北生涯学習センター第6集会室にて、みらいの令和1年度定時総会が開催されました。総会次第にそって、平成30年度の事業報告と決算報告が行われ、令和1年度の事業計画と予算が承認されました。また、今年度はみらいの役員全員が任期満了となるため、役員の変更が行われました。

新しい役員は次のとおりです。

- 理事 蛭沢 光、関戸敏夫、喜多一憲、小野裕司、
谷口純世、藤田哲也、久保勇希、涌井佳奈、外山玲那
監事 金澤亜矢、川上知幸

定時総会の後には、理事会が開催され、理事長に蛭沢光氏、副理事長に関戸敏夫氏が選任されましたので、ご報告いたします。今年度の総会に出席して感じたことは、ほとんどの会員が委任

状出席でしたので、総会の場が少し寂しかったことです。やはり会員同士、顔を合わせてこそみらいの活動だと思っています。次年度の総会には、会員の皆さんに一人でも多く総会の場にお越しただけよう、工夫をして総会を開催したいと思いました。今年度は、11月に久しぶりのわくわく集會が開催されます。会員の皆さんのご参加を会場でお待ちしています。詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

なごやかサポートみらい 理事 外山 玲那



活動報告

第21回奨学金説明会を終えて



奨学金説明会にてお話を頂いた3名の方に感想を頂きましたので、ご紹介させていただきます。

今回、久しぶりに奨学金説明会へ参加させていただきました。自分が進学するときよりも、給付型奨学金制度が充実しており、進学を目指している子どもたちに、少しでも情報が届いてほしいとの思いでお話させていただきました。高校1年生や2年生の参加者もあり、早くから自身の進学のために情報を得ようという姿勢に、(自分ではあり得なかったことなので)本当にすごいなと思いました。毎年開催されているこの奨学金説明会は、最新の給付型奨学金制度の情報を得られる大切な機会であることを改めて感じました。近年、施設等からの進学率は少しずつ増えていますが、進学ができて、その後の生活で壁にぶつかることもあると思います。それでも、壁を何とか乗り越えて、頑張っ

て自分の道を切り拓いていってほしいと強く思いました。(水野 梨沙さん)

この度は貴重な経験をありがとうございました。また、私の拙い話に耳を傾けていただき、ありがとうございました。奨学金の話は私自身も知らないことが多く、参加者の方々と一緒に勉強させていただきました。これから奨学金制度を利用しようと考えている方々にとって、とても参考になる話だと思いました。ありがとうございました。(長谷川 恵さん)

貴重な機会をいただきありがとうございました。私自身、分からないことも多くありました。分からないこそ、挑戦して失敗して経験してきました。これから進学や就職する方にはいい機会かもしれませんが、失敗と経験を積んでほしいと思います。私もまだまだ勉強不足なので一緒に頑張っていきたいと思いました。ありがとうございました!(滝澤 ジェロムさん)

コラム

養育のプロとして、さらなる成長を

最近のことですが、胸に痛みが走って1週間ほど入院しました。手術後ICUで、身の回りの世話をしてくれたのが、入社1年目の男性看護師さんでした。彼の患者(私)へ向ける言葉や所作が、決してマニュアル通りではなく、丁寧で、優しく心地よいものでした。彼に「会話とか接遇を研修でみっちりやったの?」と聞いたところ、「特に厳しく受けたということはありません、先輩たちがみなそうしているので、自然になったのかもしれない」と話してくれました。看護師という専門職だから当たり前といえるかもしれませんが、先輩から後輩へ、職場としての文化になっているのかもしれない。特に痛みを感じている患者には一つひとつの言動が痛みを和らいでくれるものとなります。

社会的養護や学校等の施設においては、専門職が関わっているから心身の痛みを与える事件の報告がなされています。生活単位の小規模化が進めば、密室化して問題が潜在化しないとも限りません。社会的養護の基本は【生活づくり】です。専門職のライセンスを持つということは、養育のプロとしての資質が問われているということ、自覚化されなければならない、と思う昨今です。

なごやかサポートみらい 理事 喜多 一憲



監事の活動紹介

自分の得意分野を活かし、サポートします!

会員の皆様、関係者の皆様、こんにちは。監事を務めさせていただいております、金澤亜矢と申します。監事となって1年以上が経過しました。最初は分からないことだらけでしたが、わかっていくほどに団体としての活動の意義を実感しております。

私は社会保険労務士という仕事をしております。労働関係・社会保険関係を専門とする法律家です。例えば、「残業代未払い」「有給休暇」「過重労働」「ハラスメント」等、働く人の身近に存在するこれらの問題は、全て社会保険労務士が得意とする分野です。

私がこの仕事に就いて痛烈に感じるのは、「知らなくて損している」方がとても多いということです。私がおかしいと思いつつ、声を上げるほど明確な根拠もなく、不当な扱いをされても我慢し続けている...私は、それがとても辛いです。

どうしてもお困りでしたら、是非「なごやかサロン」にお越しください。私もできる範囲で力になりたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

なごやかサポートみらい 監事 金澤 亜矢

